

**2019年第8回村上春樹国際シンポジウム**  
**村上春樹文学における「移動」 (Movement)**  
**プログラム**

場 所 北海道大学札幌キャンパス 人文・社会科学総合教育研究棟  
 時 間 2019年7月20日(土)・21日(日)・22日(月)  
 参加申し込み <https://forms.gle/WSxrQJcngsdMh66c7>

**2019年7月20日(土曜日)**

2019年7月20日(土曜日)	
0900-0930	受付
0930-0940	<p style="text-align: center;"><b>開会式</b></p> <p>会 場 W203                  司 会 小林 由紀(東呉大学非常勤助理教授)                  開会の辞 曾 秋桂(淡江大学村上春樹研究センター主任)                  笠原 正典(北海道大学 理事・副学長)                  吳 萬寶(淡江大学外国語学部学部長)</p>
0940-0950 休憩時間	
0950-1040	<p style="text-align: center;"><b>基調講演①</b></p> <p>会 場 W203                  司 会 落合 由治(淡江大学教授)                  題 目 カモメは宇宙に飛び、ハルキはサハリンに向かう—村上文学における移動と世界文学空間                  講演者 沼野 充義(東京大学教授)</p>
1040-1130	<p style="text-align: center;"><b>基調講演②</b></p> <p>会 場 W203                  司 会 頼 振南(輔仁大学教授)                  題 目 本格ミステリから読む村上春樹—〈アフターダーク〉から〈ビフォーダーク〉への移動                  講演者 押野 武志(北海道大学教授)</p>
1130-1230 昼食時間	
1230-1320	<p style="text-align: center;"><b>基調講演③</b></p> <p>会 場 W203                  司 会 頼 錦雀(東呉大学教授)                  題 目 村上春樹と方言について—登場人物・作家の移動と痕跡—                  講演者 金水 敏(大阪大学教授)</p>
1320-1325 休憩時間	
1325-1330	<p>会場 W203                  コメンテーター 周 玉慧(台湾中央研究院研究員)</p>
1330-1350	<p>発表者① 大村 梓(山梨県立大学准教授)                  題 目 「踊る小人」における語りと暴力性</p>
1350-1410	<p>発表者② 清水 泰生(同志社大学嘱託講師)                  題 目 村上春樹とランニングと音楽</p>
1410-1430	<p>発表者③ 吳 萬寶(淡江大学教授)                  題 目 關於跑步, 村上說的其實是… —村上上の跑步手記</p>
1430-1445	質疑応答
1445-1450 休憩時間	
1450-1500	<p>テーマ 村上春樹文学における「移動」(Movement)                  会 場 W203                  司 会 曾 秋桂(淡江大学村上春樹研究センター主任)</p>
1500-1600	<p style="text-align: center;"><b>パネルディスカッション</b></p> <p>パネリスト① 沼野 充義(東京大学教授)                  パネリスト② 押野 武志(北海道大学教授)                  パネリスト③ 金水 敏(大阪大学教授)                  パネリスト④ 中村 三春(北海道大学教授)                  パネリスト⑤ 高橋 龍夫(専修大学教授)                  パネリスト⑥ 鄒 波(復旦大学准教授)</p>
1600-1630	総合討論
1700-1900	<p style="text-align: center;"><b>懇親会</b></p> <p>会 場 レストランエルム(北海道札幌市北区北11条西8丁目)                  司 会 小林 由紀(東呉大学非常勤助理教授)</p>

2019年7月21日（日曜日）

	会場 W104	会場 W205	会場 W308	会場 W408
0930-0935	<b>セッション①</b> コメンテーター内田康 (淡江大学准教授)	<b>セッション②</b> コメンテーター坂元昌樹 (熊本大学准教授)	<b>セッション③</b> コメンテーター黄如萍 (高雄餐旅大学准教授)	<b>セッション④</b> コメンテーター范淑文 (台湾大学教授)
0935-0955	山根 由美恵 (広島大学客員准教授)	落合 由治 (淡江大学教授)	荻原 桂子 (九州女子大学教授)	林 裕二 (西南女学院大学教授)
	リーダー像からみる「1Q84」— 「1Q84」世界からの〈移動〉の是非—	小説の構造から見る村上春樹作品の語り と移動	村上春樹『騎士団長殺し』における移動— 『春雨物語』『二世の縁』との通路—	ノルウェイの森の一考察—揺れ動く心—
0955-1015	佐藤 敬子 (横浜市立大学看護短期大学 元・非常勤講師)	鄒 波 (復旦大学准教授)	曾 秋桂 (淡江大学教授)	赤崎 学 (NPO法人・啄木・賢治を研究 し、広める会)
	移動する「ぼく」と待機する「老人」 —村上春樹『ふしぎな図書館』論—	中国の学生映画に移動した村上春樹文学— 「100%の女の子・パン屋襲撃」の 翻案を中心に—	『騎士団長殺し』における「移動」— 国境を越えたことの差異化	ドイツへの旅の途上で：『ノルウェイ の森』冒頭の、一解釈
1015-1035	ディアン アンニサ ヌル リダ (東京外国語大学博士後期課程)	趙 柱喜 (高麗大学兼任教授)	ヴァレンティーナ・ジャンマリア (上智大学博士後期課程)	落合 温子 (高等学校(愛知県)教諭)
	村上春樹文学における「コミットメント」 を再検討—『1Q84』を中心に—	村上春樹文学における記憶の空間	『騎士団長殺し』の「私」という英雄 のクエスト達成において不可欠な様々な 女性の役割	何も無い「100パーセントの恋愛小説」 —緑と玲子を中心に—
1035-1050	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1050-1100	休憩時間			
1100-1105	<b>セッション⑤</b> コメンテーター齋藤正志 (中国文化大学准教授)	<b>セッション⑥</b> コメンテーター王嘉臨 (淡江大学准教授)	<b>セッション⑦</b> コメンテーター邱若山 (静宜大学教授)	<b>セッション⑧</b> コメンテーター林裕二 (西南女学院大学教授)
1105-1125	頼 錦雀 (東呉大学教授)	高橋 由貴 (福島大学准教授)	高橋 龍夫 (専修大学教授)	周 玉慧 (台湾中央研究院研究員)
	『辺境・近境』から見る村上春樹の移動	『同時代としてのアメリカ』と「地獄 の黙示録」受容—初期短編小説にお ける移動の問題—	「ハンティング・ナイフ」論—潜在す るムーブメント/移動する舞台—	旅の「移動」に関する現代の日本人の 旅の形態と心理的動機：《木野》から 始まる
1125-1145	坂元 昌樹 (熊本大学准教授)	大野 建 (北海道大学博士後期課程)	楊 炳菁 (北京外国語大学准教授)	余 盛延 (台北科技大学教授)
	村上春樹と〈辺境〉の表象—『辺境・ 近境』を読む—	『ザ・スコット・フィッツジェラル ド・ブック』と都市間の移動—小説と しての「ゼルダ・フィッツジェラルド の短い伝記」—	村上春樹短編小説「レーダーホーゼ ン」論—レーダーホーゼンの役割を中 心に—	The Passage of Time, Existential Melancholy, and Haruki Murakami's Apologia for His Writing Style in Hear the Wind Sing
1145-1155	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1155-1300	昼食時間			
1300-1305	<b>セッション⑨</b> コメンテーター頼雲荘 (東呉大学准教授)	<b>セッション⑩</b> コメンテーター葉婁 (淡江大学助理教授)	<b>セッション⑪</b> コメンテーター高橋由貴 (福島大学准教授)	<b>セッション⑫</b> コメンテーター楊炳菁 (北京外国語大学准教授)
1305-1325	楊 琇媚 (南台科技大学准教授)	王 佑心 (銘伝大学准教授)	范 淑文 (台湾大学教授)	齋藤 正志 (中国文化大学准教授)
	村上春樹「ハナレイ・ベイ」試論	『スプートニクの恋人』を読む—方法 としての「移動」	『海辺のカフカ』の主人公の移動— 「空間」の働き	移動と消失—『国境の南、太陽の西』 における「島本」の真意—

1325-1345	飯干 大嵩 (専修大学修士課程)	石川 隆男 (台湾大学講師)	廖 秀娟 (元智大学准教授)	星野 智之 (編集者・著述家)
	村上春樹「偶然の旅人」論—他者との間で動く「偶然」	『スプートニクの恋人』論—移動・旅・居場所—	〈移動〉の視点から読む村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』	『羊をめぐる冒険』における移動とジャック・ロンドンの旅路
1345-1405	黄 如萍 (高雄餐旅大学准教授)	浅利 文子 (法政大学兼任講師)	王 薇婷 (広島大学博士)	マツタナー・チャトゥラセンパイロット (チューラーロンコーン大学講師)
	「石のまくらに」論—摂取の関係を兼ねて	『スプートニクの恋人』—「あちら側」への移動と個をめぐる回転—	村上春樹文学における移動—『神の子どもたちはみな踊る』を中心に—	村上春樹「タイランド」に関する一考察
1405-1420	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1420-1425	休憩時間			
1425-1430	セッション⑬ コメンテーター楊琇媚 (南台科技大学准教授)	セッション⑭ コメンテーター廖秀娟 (元智大学准教授)	セッション⑮ コメンテーター王佑心 (銘伝大学准教授)	
1430-1450	王 嘉臨 (淡江大学准教授)	錦 咲やか (日本近代文学研究者)	葉 菱 (淡江大学助理教授)	
	村上春樹作品における移動する女性たち	世界記述の方法—『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』の移動と贈与—	村上春樹文学研究視点の移動—Word2Vecを視座にして—	
1450-1510	内田 康 (淡江大学准教授)	葉 蕙 (マレーシア・拉曼大学講師)		
	移動する〈幽霊〉—村上春樹文学と上田秋成—	『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』における「移動」及び「心の問題」をめぐる		
1510-1520	質疑応答	質疑応答	1450-1455 質疑応答	
1520-1525	休憩時間			
1525-1535	閉会式 会 場 W 408 司 会 小林 由紀 (東呉大学非常勤助理教授) 閉会の辞 曾 秋桂 (淡江大学村上春樹研究センター主任) 中村 三春 (北海道大学教授)			
1540-1640	慰労会 会 場 W308			

2019年7月22日 (月曜日)

オプション・ツアー	<p style="text-align: center;"><b>文学見学</b> <b>『羊をめぐる冒険』の聖地〈美深町〉めぐり</b></p> <p style="text-align: center;">問い合わせ：星野智之 (090-3801-6386 メール: info@aiohoshi.co.jp)</p> <p style="text-align: center;">※ お問い合わせの際は必ず「村上春樹国際シンポジウム」の参加者である旨をお伝えください。</p>
-----------	---

主催 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語学科  
 共催 北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室  
 助成 国際交流基金  
 後援 北海道大学大学院文学研究院・淡江大学出版センター・台湾日本語教育学会・台湾日本語文学会・日本比較文化学会・瑞蘭国際出版・淡江大学日本語学科08会  
 会場担当 北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室主任 中村三春